

一口法話

善心は水に描いた文字のよじりに
消えやすい。



思い出の写真

この写真は、昭和44年4月長屋門を取り壊し、その跡へ塀を造り完成したときの記念写真です。後列中央の酒井定次氏（花園最高齢者）は、ただ一人健在です。

宗教とは

- 1, 神仏などを信じて安らぎを得ようとする心のはたらき、又神仏の教え
- 2, 心の空洞をいやすものとして必要なとき、常に頼れる絶対者を求める根源的精神的な営み、又その意義を必要と説く教え。
- 3, 安心、なぐさめ、幸福を得ようとして、神仏を信仰すること。
- 4, 苦悩になやめる人たちに救いの道を与える事（衆生済度）・・・仏教の神髄
それなくしていかなる宗教も成り立たない 弘法大師の御誓願がこれである。



悪に強いものは善にも強い、ということをいいます。

昔、銀行泥棒が何か月も前から地下道を掘り続けて、銀行の大金庫の真下まで正確にたどり着き、そっくり盗んでいくという事件がありました。その手口のあざやかさには警察も驚嘆したといえます。

しかし、もしもこの泥棒が改心して、海底トンネルの技術者になったならば、彼は、その優れた智恵で、すばらしい仕事をすることに違いありません。

仏の教えに導かれて生きることは、身体の活動、言葉の働き、心の持ち様を自らが浄め莊厳することである。

ものに決まった性質などない。
悪人もいつまでも悪人ではない。

物に定まれる性無し、
人何ぞ常に悪ならん。

空海の言葉 シリーズ